

## 星城二代 ～父から子へ～

【会社案内】  
有限会社 鈴富  
昭和29年 初代鈴木富彦氏により設立。  
現在は、信広氏が二代目として活躍中。  
機械工具、工場用品等を販売。



父/鈴木 信広  
(星城高等学校 第4回生)



子/鈴木 亜希子  
(星城高等学校 第38回生)

### Q.星城高等学校の思い出をお聞かせ下さい。

- (父) 部活です。ハンドボール部で練習が非常に厳しかったことを覚えています。しかし高校3年間を頑張り抜いたことで体力的にも自信を持つことができ、大学ではアメリカンフットボール部に挑戦しました。もうひとつ忘れてはならない事は、高校の新聞部にも所属しました。その時の先輩方の影響は大きなものです。縁というのでしょうか、現在では星城高等学校同窓会役員として共に活動しています。
- (娘) 校則が厳しかったことです。当時はそれが辛かった。しかし、卒業した今となってはそれもまた懐かしく、良い思い出となっています。

### Q.娘さんの星城高等学校進学について。

- (父) 私立学校の受験校は、星城高等学校をすすめました。それは、親としても学校を分かっているという安心感と、やはり厳しい環境の中で自分を鍛え、良き友達を作ってもらいたいと思ったからです。

### Q.星城高等学校は今年度新校舎が完成しましたが。

- (父) まるで大学のキャンパスの様に感じました。こんな環境の中で高校生活を過ごせる生徒が羨ましく思います。
- (娘) 益々良くなっていると思います。

### Q.これからの星城高等学校もしくは学園に期待するものは何ですか。

- (父) 昨今、問題となっている“いじめ”はないか。先生方はあらゆる面でより一層生徒に関心を持って生徒に接することを期待します。進学校、進学率も非常に大切な関心事ですが、校風・校則等、教職員の人格にも期待する部分が多いです。

### Q.星城高等学校生徒へ一言お願いします。

- (父) 高校生活は与えられるものではなく、自分で作っていくものです。自分でテーマをもって頑張ってください。

## 苦渋の就職活動を乗り越え、「笑顔」が輝く

### 村瀬 智美 (第1期生)

近畿日本ツーリスト株式会社 名古屋エーエージェントセンター  
部署案内:旅行を取り扱っている取引先へ当社のパンフレットを供給し、商品を買っていただき、その予約の受付や問合せ等を全て行っております。いわば旅行会社であります。お客様も旅行会社であり、1日中フル稼働で社員が対応しており、活気がある職場です

就職活動では良いお返事がいただけない日々が続き、企業展など何度も足を運びました。活動を開始したのが遅かったのも原因だと思いますが、正直つらかったです。しかし、仕事を頑張りたいという気持ちが沸々と湧き出して、大学の就職課にも相談しながら活動を再開。結果、自分の好きな「旅行」関係に内定が決まりました。あのつらい時期にあきらめなくて良かったと思います。

後輩の皆さんには一度しかない人生、後悔しないように自分のやりたい事をとことんやってほしいと思います。

聞いてびっくり!  
星城高校の  
先輩・後輩  
だったとは...



上司と部下で星城コンビ、職場で大活躍!!

### 山下 一宏 (星城高等学校 第11回生)

近畿日本ツーリスト株式会社 名古屋エーエージェントセンター 課長(メイト担当)

村瀬さんが入社する時に分かっていればもっと可愛がっていたと思いますが、私は星城高等学校から近畿日本ツーリストへ就職した第1号で、もちろん先輩も同輩もなく、後輩の入社も知りませんでした。約20年ぶりの後輩の出現にびっくりしました。先輩としてはでき得る事は全て指導し、色々な事に興味を持ち、仕事に結びつけていただきたいと思っています。これからも星城の後輩がどんどん入社し、共に会社を盛り上げていければ良いかなと思います。

# カーレースの世界トップ選手 母校で語る



12月27日(水)  
世界で活躍する2人が星城高等学校に集う。

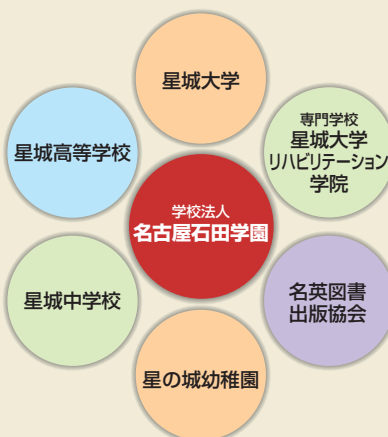
- (左) 石田正城 (星城高等学校 学校長)  
(中) 松浦孝亮 (スーパーアグリ・パンサー・レーシング 第33回生) チーム所属/IRLインディカー・シリーズフル参戦)  
(右) 中嶋一貴 (ウィリアムズ F1 テストドライバー/ 第38回生) GP2シリーズにDAMSより参戦)

### 後輩へのメッセージ

松浦さん... 今しかできないことがある。高校時代からサーキットへ通い、ほとんどの時間を費やした。あの時レースに全力投球したから今の自分があると思う。目標があればそれに向かって全力投球してほしい。

中嶋さん... 自分の場合は早い段階から目標があったが、そうでなくても大事なものは自分の置かれた環境の中でしっかりとやるべき事をやる事。目標に辿り着くまでには我慢しなければいけないこともあるが、その時その時に出来る事をしっかりとやっていく過程が大事な事だと思う。

近日発行! それぞれヨーロッパやアメリカを拠点に世界の第一線で活躍しているお2人の特集を組み、皆さんにお届けします。お楽しみに。



学校法人 名古屋石田学園  
法人本部 企画秘書室

〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目14番32号  
TEL:052-221-8921 FAX:052-203-5243  
URL:<http://www.n-ishida.ac.jp/>  
E-mail:[main@n-ishida.ac.jp](mailto:main@n-ishida.ac.jp)